

第4回高機能フィルム展

注目企業の製品・技術

〈順不同〉

オサダコーポレーション

オサダコーポレーションは、ロールでフィルムをクリーニングする装置を設計製造している。ラバーローラーで異物を除去しながら粘着テープに転写することにより、常にラバーローラーはきれいな状態でフィルムに当たり、長時間クリーニング能力を維持できる。粘着テープは飽和状態になっ

たら切り取り保管すれば、異物ロケとして品質管理にも役立つ。特にロール・ツー・ロールプロセスでの高速対応、ローテンション対応など、クリーニング技術とともに特許技術を含むプラスの技術を備えた製品を用意し、顧客が満足する製品とサービスの提供を目指す。

ロック技研工業

ロック技研工業は印刷機で培ったロール・ツー・ロール技術を真空技術と融合させ、顧客の要望を最大限取り入れたオーダーメイド装置を手がけている。今回の展示会では新開発の「真空巻き取り式成膜装置」を出展する。同製品はスパッタ式、蒸着式のどちらにも対応が可能である。また、透明導

電膜をはじめとしたロール・ツー・ロール装置による製品サンプルを多数展示する。今後、顧客からの成膜依頼を強化し、新分野への成膜応用開拓に取り組んでいく。このほか、同社独自開発のITO成膜技術のサンプル展示も行う。

ソルテック工業

ソルテック工業は薄物シート加工のための省力機械メーカー。開発・設計・電気制御・組み立てまで一貫して自社で製造している。フラットプレスマシン「SSPR-W250」の特徴は独自のクランクサーボ方式によるシンブル・コンパクトなメカ設計と、コッターによる抜き深さ調整機構。こ

れにより初心者でも簡単・高精度にITOフィルムなどの高機能フィルムの抜き加工が可能になる。このほか、高精度・コンパクト・簡単操作で好評のシートカッターや2軸スリッターなどの実機実演を行う。ブースには技術スタッフが常時待機し、カスタマイズや技術相談に対応する。

クラボウ

クラボウは耐熱フィルムやフィルム状ホットメルト型接着剤などの機能性フィルムと、赤外線方式の膜厚計やフィルム外観検査装置などの検査計測装置を出展する。耐熱フィルムシリーズは原料特性を生かした耐薬品性、絶縁性などの機能性はもちろんのこと、従来のフィルムに比べ耐熱性を大幅

に向上させている点の特徴。赤外吸収式膜厚計は単層フィルムはもとより、多層構造のフィルム中の各層の厚さを抜き出して計測できる。また、四つの光学方式による観察像を1台のカメラで検査できる画期的な独自技術を採用したフィルム外観検査装置を展示する。

共同技研化学

共同技研化学はスマートフォン向けなどフラットパネルディスプレイ（FPD）の視認度向上と保護機能を兼ねたアクリル性中間粘着フィルム「メークリングル」の増産に乗り出す。

群馬県富岡市の主力工場に約2億円を投資し、同増産体制を整備している。同設備の本格稼働によ

り、メークリングルの生産能力は従来比で、最大7倍となる見込み。5月の稼働を目指す。

メークリングルは、同社の開発品。FPDのガラス部分周囲に印刷する枠状の隠蔽材上に貼る被覆膜として用いられ、光屈折率を改善し視認度を向上する。

平井工業

平井工業は押し出し機や塗工ダイにHIP（熱間等方圧加圧接合）処理を行い、幅広い分野の顧客に提供している。HIPは高硬度合金を母材に拡散接合できるのが特徴。既設ダイへの先端エッジHIP化は、昨年280ミリのダイで成功、さらに幅広ダイ（2000ミリ）接合の試作開発を進めている。

各種試作品の評価ではダイは「キレ」がいいと好評で、塗工ダイはファイラー・マッド系液に非常に有効。従来のステンレスダイと比較すると補修時期が18倍に伸びた。樹脂ペレットの製造ノズルでは「目ヤニ」起因による不良率が1・5%から0・09%まで減少し注目されている。

坂本造機

坂本造機はベストセラーのサーボクランク型抜き機を改良し、従来機比1・5倍の速度と加圧力を実現した「SCP600BN」を出展する。1画面2プログラム機能を実装し、加工の幅を広げる。スマートフォン用の各種フィルム材料、光学用フィルムや電子機器用のフィルム材料の抜き加工に最適。そのほかシート状（枚葉）材料の抜き加工にも対応する。モニターカメラや生産管理機能などもオプションで追加可能だ。

また、材料をロール状のまま供給でき、電荷結合素子（CCD）カメラによる位置決めで高精度型抜きが可能な「ロール材位置決め型抜き機」なども出品する。

夢ある未来を技術で創る

日々新たな挑戦



本社(事務所及び大型装置組立工場)



第4回高機能フィルム展
成形・塗工・二次加工ゾーン
東2ホール 35-14

RVS-W-600 真空巻き取り式成膜装置



ロック技研工業株式会社

本社/〒289-1144 千葉県八街市八街51-140
TEL 043-440-1781(代表) FAX 043-440-1782
URL <http://www.rock-giken.co.jp>